

東京の底から

Tokyo, full of dynamics

日本橋美人推進協議会

江戸の昔からの伝統文化が、女性の感性で歴史、文化、食、息づく東京・日本橋で「日本橋美人プロジェクト」が、脚光を浴びている。その提唱者の山田晃子さんによれば、「日本橋美人」とは「江戸時代から続く伝統を感じつつ品格や粋などの価値観を大切にする、心も身体も美しい」女性を総称した、東京（江戸）の地域ブランドです。考

女性の豊かな感性で「賑わい」創出

日本橋美人推進協議会が2008年から中心に取り組んでいるのが「日本橋美人博覧会」。毎年秋に日本橋地域を中心に開催され、名店、企業、ホテルや文化施設などをパビリオンに見立て、江戸をテーマに伝統技術や歴史、美意識などに関わる展示を街ぐるみで行う。コレド日本橋、三井タワー、東京証券取引所、築地

このイベントはこれまで4回開かれたが、今年の5回目は「EDO ART EXPO Japan Beauty from Edo」"Tokyo"と名称を変更、東京の観光都市としての賑わいの創出と広域的な地域の活性化を図ることになった。江戸以来の日本文化を日本橋を中心

「世界の通貨の祭典」といわれる同総会には世界各国から多くの政府、金融、メディア関係者が集まるので、東京や日本橋を世界にアピールする絶好の機会になる。今年は「江戸の美意識」をメインテーマとし、例年と同様のイベントのほか、IMF総会記念イベントを開催。昨年実施し反響のあった東日本大震災支援プロジェクト（売り上げの一部を被災地支援に充てる）も継続する。

「江戸」繋がりで、会を重ねる毎に、様々な地域や団体との連携が生まれています。と微笑む山田さんの視線は、さらに先を向いている。

（八牧 浩行）



日本橋美人推進協議会の山田晃子プロデューサー



博覧会での華やかな演出の「きものショー」。一般公募の読者モデルが着物を披露した。